

# 短期水稲の米質について

伊藤暢恒・江藤慶一  
(熊本県農業試験場)

Ito, N. and Eto, K.  
On the Quality of Short Term Cultivated Rice

---

水稲短期栽培とは早期用品種を用いて普通期に田植し、9月中旬～10月上旬に収穫する作型である。最近八代地方における抑制そ菜の前作として、また平坦酪農における飼料作物の前作として導入されつつある。そこでその栽培法について第27号に報告したが、なお米質について2・3の調査を行なつたので、その概要を報告したい。

## 試 験 方 法

供試品種は早期用品種の中から代表的な8品種を用い、A早期栽培・B短期栽培・C晩期栽培の奨励品種決定調査の材料について、玄米の登熟径過の調査および玄米の特性、玄米のみかけの品質について調査した

## 試験成績および考察

(1) 水稲の生育および収量について早期栽培と比較す

ると、稈長は短期が長く、穂長も同程度かやや長い  
が、穂数は同程度かやや少ない傾向がみられた。そし  
て収量は越路早生・コシヒカリは短期がやや劣つた  
が、フジミノリ・西南8号は大差なく、農林29号・マ  
ンリョウは短期が多収を示した。

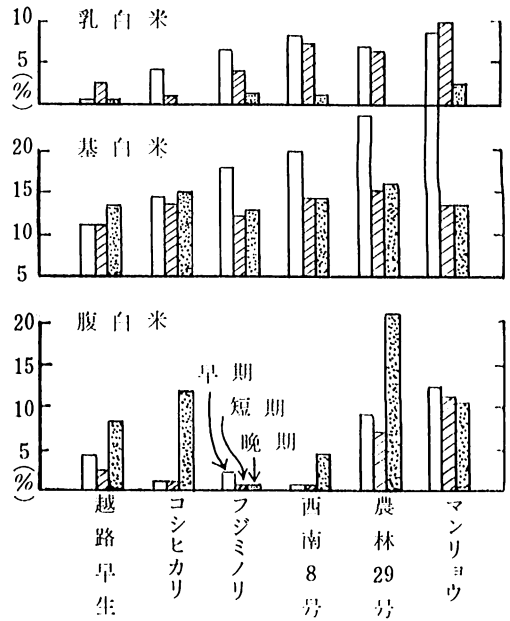
(2) 玄米の登熟日数は35~38日で、早期よりわずかに長かつた。しかし登熟期間の積算温度はほぼ同じであつた。

(3) 玄米千粒重は早期とほぼ同じであつたが、玄米  
1ℓ重は短期が重い傾向を示した。これは早期栽培は  
気温が上昇する頃に出穂し最高時に登熟するが、短期

栽培は気温が下降し初める頃に出穂し、登熟盛期の気  
温が適度な条件下にあるために、玄米の充実がよいこ  
を示すものであろう。

(4) 玄米のみかけの品質については早期に比較して  
越路早生・コシヒカリでは大差ないが、早期で米質が  
悪化するフジミノリ・西南8号・農林29号・マンリョ  
ウでは基白米が少なく、短期が優れる傾向を示した。

第1図 玄米のみかけの品質



第1表 水稻の生育・収量

品 種 名	出穂期	成熟期	登熟日数	アール当玄米重	玄米千粒重	玄米1ℓ重
越路早生	A	6.30	8.2	33	44.8	20.7
	B	8.13	9.17	35	42.8	20.3
	C	9.12	10.27	45	42.7	21.0
コシヒカリ	A	7.5	8.7	33	45.2	20.9
	B	8.16	9.22	37	2.1	20.4
	C	9.12	10.27	45	42.0	22.1
フジミノリ	A	6.30	8.2	33	40.4	21.6
	B	8.14	9.20	35	42.1	21.3
	C	9.12	10.27	45	40.4	22.7
西南8号	A	6.29	8.1	33	43.7	20.7
	B	8.15	9.20	35	43.3	20.8
	C	9.12	10.27	45	40.7	21.6
農林29号	A	7.19	8.23	35	42.3	20.5
	B	8.29	10.7	38	48.1	20.3
	C	9.14	11.1	48	40.3	22.4
マンリョウ	A	7.19	8.23	35	45.3	21.0
	B	8.23	9.31	38	51.2	21.9
	C	9.12	10.30	48	40.3	22.9